

習慣づけよう
努力めよう
早期発見
がん検診

胃がんは、いったん進行すると特有の症状がでますが、早期の段階では、ほとんど自覚症状がありません。ですから、自覚症状をあてにしていると、その時は手遅れということになりかねません。定期検診が必要な理由は、まさにここにあります。たとえ自覚症状がなくても40歳になったら、年に一度は必ず検診を受けたいものです。

検診を受けたくないという理由の多くは、「検診はこわいもの、苦しいもの」という思い込みが多いようです。しかし、検診技術・機器が著しく進歩し、現在はほとんど苦痛を感じないで、検診が受けられるようになりました。

なかには、精密検査が必要になる人もいます。「精密検査を受けてがんといわれたらこわい」とか「忙しいから」と受診しない人が毎年います。



受診せずにがんにかかっていたことに、あとで気づくことのほうがもつとこわいのです。がん検診を受けたら検診結果を自分自身のために生かしましょう。

平成2年度のがん検診の予定は、下表のとおりです。みなさん誘い合いぜひ受診してください。

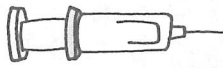
検診名	実施予定日	該当者	実施場所
胃がん検診	6月6日～6月8日 と6月14日(第1次) 8月8日(第2次)	40歳以上の者	横芝町文化会館
乳がん検診	11月21日と11月28日	30歳以上の者	横芝町文化会館
子宮がん検診	10月16日～10月18日	30歳以上の者	横芝町文化会館
肺がん検診 (喀痰検診)	10月30日(火)	50歳以上の重喫煙者	横芝町役場他

こくほ Q & A

国保で受けられない診療

Q 国保で診療が受けられない場合がありますか？

A 次のような場合は、国保で診療を受けられません。

■病気とみなされないもの		 <p>⑦経済上の理由による妊娠中絶</p> <p>■業務上のけがや病気 労災保険が適用されるか、労働基準法にしたがって雇い主の負担となる。</p> <p>■その他 ①けんか、酔っぱらいなどが原因のけがや病気 ②わざとした行動や犯罪をおかしてのけがや病気 ③医師の指示に従わなかったとき</p> 
 ①正常な妊娠・お産	 ④健康診断	
 ②美容整形	 ⑤予防注射 (ただし、破傷風・狂犬病・はしか・百日ぜきは、感染のおそれがある場合のみ認められる)	
 ③歯列矯正	 ⑥日常生活に支障のないわきがや顔のしみ・あざ・ほくろなどの除去のための治療	